

配布資料 07

第2回姫路市経済有識者会議

事務局報告（3）

～姫路市観光戦略プラン～

令和8年（2026年）8月4日
姫路市観光コンベンション室

概 要

訪日外客数の増加や物価高など、本市の観光を取り巻く環境が急速に変化する中、持続可能な観光地域づくりを目指し、今後取り組む戦略、施策を体系付けて整理した計画。

10年後の姫路の観光のあるべき姿を見据え、「バックキャストिंग」の手法を採用し、本市のブランド力や国際的な知名度の向上を図ることで、都市間競争を勝ち抜き、「世界から選ばれるまち H I M E J I」を目指す。

改定スケジュール

- ・ 検討懇話会は令和7年度に1回、令和8年度に4回程度開催
- ・ 姫路市の観光の10年後の「あるべき姿」を見据え、有識者からなる検討懇話会にて協議

第1回 済

R8年2月19日（木）

- ・ 現行プランの概要説明
- ・ 現行プランの事業評価説明
- ・ 委員による事例発表
藤田委員
古田委員
高月委員

第2回 済

R8年7月15日（水）

- ・ プラン骨子案の検討
- ・ 委員による事例発表
殿村委員
世羅委員

第3回

R8年8月31日（月）

- ・ プラン骨子案の確認
- ・ プラン素案及び数値目標の検討
- ・ 委員による事例発表
名田委員
笹田委員
伊藤委員

第4回

R8年11月頃

- ・ プラン素案及び数値目標の確認
- ・ パブリックコメント募集内容の確認

第5回

R9年2月頃

- ・ パブリックコメント実施結果の確認
- ・ プラン最終案の確認

姫路市観光戦略プラン検討懇話会の構成

検討懇話会委員

(敬称略)

	分野	所属	肩書	氏名
1	学識（座長）	兵庫県立大学	副学長	加納 郁也
2	学識	(公社)ひょうご観光本部	ツーリズム プロデューサー	古田 菜穂子
3	観光	(株)JTB総合研究所	主任研究員	藤田 尚希
4		(公社)姫路観光 コンベンションビューロー	専務理事	高月 和義
5	経済	姫路商工会議所	観光委員会委員長	名田 和由
6	メディア	(株)TMオフィス	代表取締役	殿村 美樹
7	国際	(株)博報堂	エクスペリエンス ディレクター	世羅 孝祐
8	市内事業者	光洋製瓦(株)	代表取締役	笹田 奈都子
9		姫路城外国語ガイド協会	会長	伊藤 理恵

第2回検討懇話会での協議事項①

国・県における施策・戦略体系を踏まえ、姫路市の現状と課題を整理した上で、第1回検討懇話会における委員の発言内容をまとめた資料を作成し、**第2回検討懇話会にて10年後のあるべき姿にあたる「姫路市の観光の将来像」を提案した。**

現状分析

- ・観光立国推進基本計画（第5次）
- ・「ひょうご新観光戦略」後期重点取組

課題整理

- ・本市の観光を取り巻く現状
- ・本市における目的
- ・プランの位置づけ

委員意見

- ・10年後の観光の姿
- ・姫路の観光の課題
- ・姫路の観光が目指すべき取組み



姫路市の観光の将来像
(10年後のあるべき姿)

**姫路城を核に、文化・暮らし・地域経済を
まち全体で育てる持続可能な滞在型観光**

第2回検討懇話会での協議事項②

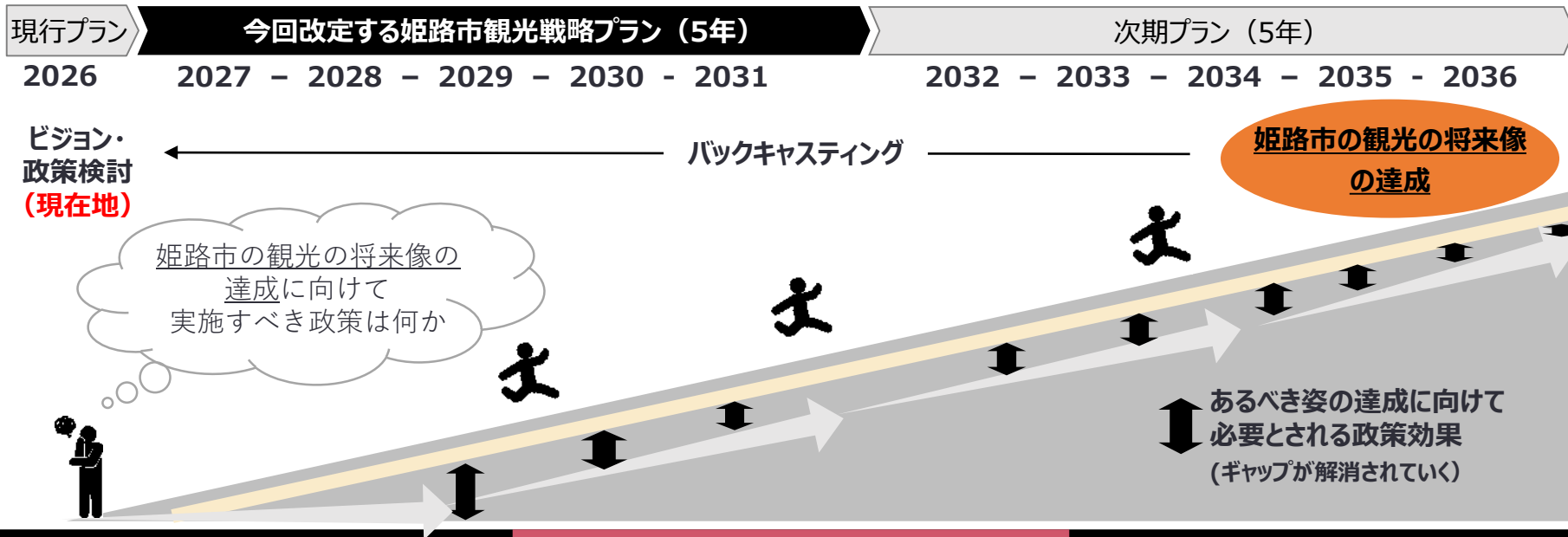
姫路市の観光の将来像の達成に向けて、姫路市総合計画「行動指針」に対応させた姫路市観光戦略プラン「戦略案」及び姫路市の特徴、取り組むべきこと等について検討した。

姫路市総合計画「行動指針」

人・地域	活力	土台
ア 観光の振興に寄与する人材の確保・育成	イ 生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実 ウ 姫路の歴史的・文化的な魅力を伝えるシティプロモーションの展開 エ 国内外から高く評価されるコンベンション都市の実現	オ 観光客に寄り添った受入環境の整備 カ 地域一体となった戦略的・継続的な地域づくり

姫路市観光戦略プラン「戦略案」

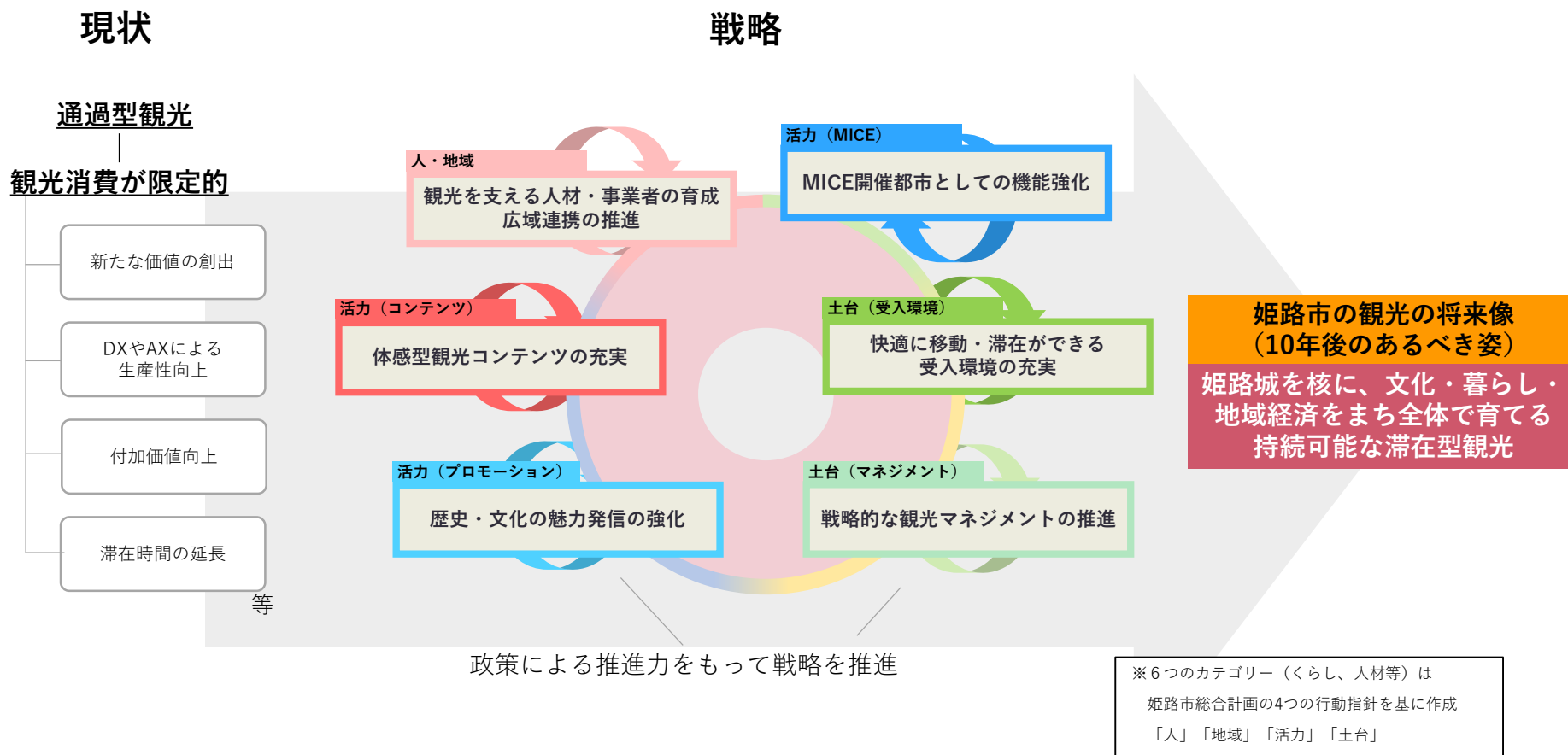
観光を支える人材・事業者の育成と広域連携の推進	体感型観光コンテンツの充実	歴史・文化の魅力発信の強化	MICE開催都市としての機能強化	快適に移動・滞在できる受入環境の充実	戦略的な観光マネジメントの推進
-------------------------	---------------	---------------	------------------	--------------------	-----------------



姫路市観光戦略プラン 全体像

さらに「10年後のあるべき姿」を実現するために、6つのカテゴリーごとに戦略（＝計画期間の5カ年で達成すべき目標）を設定

姫路市観光戦略プラン イメージ



第1回有識者会議 > 複数分野にまたがる項目への対応状況



複数分野にまたがる項目のうち、有識者会議にて観光分野で管轄すべき範囲として定められた項目については、プラン骨子におけるキーワードと紐づけ、プランへの記載を予定している。

トピック	項目	詳細を記載する計画
企業	企業の外国人材の受け入れ(制度・環境整備)	経済
	地域企業の海外展開	経済
	地域産品の海外販路開拓	経済
	観光関連産業の成長に伴う雇用創出 →「観光人材・事業者の育成」	観光
インバウンド	国際交流の活発化によるインバウンド観光の受入体制強化 →「受入環境の整備」	観光
	インバウンド受入体制強化による経済効果の拡大 →「広域連携」	観光
MICE	MICE推進による地域経済の活性化 →「MICE誘致の推進」	観光
	国際会議の受入・実施体制の確保, 誘致 →「MICE誘致の推進」	観光
都市の魅力向上	都市のブランド力強化による経済効果の拡大	経済
	海外に向けた効果的な都市プロモーション	国際
その他	グローバル人材育成・確保	国際
	観光DXの推進 →「観光データの収集・分析」	観光
	観光消費額の更なる向上 →「消費単価の上昇」	観光

観光戦略プラン > 他2計画へ共有事項

人材分野及びインバウンド・MICE推進による地域経済の活性化について、経済との認識の擦り合わせをしたい。国際に関しては、インバウンド・国際会議の受入、都市ブランド力の向上について擦り合わせをしたい。

観光⇄経済

<人材分野>

- ・ 観光戦略プランでは、**観光人材・事業者の育成について個別に取り組む**ものと理解している。
- ・ 経済においては、**業種を限定しない労働施策を計画内で整理いただく**ものと認識している。

<地域経済の活性化>

- ・ 観光戦略プランにおいて、**インバウンドの誘客、MICEの誘致、観光客の受入環境の整備及び周遊促進**に取り組む。
- ・ 経済においては、観光消費額の増加に向け、**中心市街地などにおける商店街や事業者との連携を支援**いただきたい。

観光⇄国際

<インバウンド・国際会議受入>

- ・ 観光戦略プラン・国際戦略の双方で、**インバウンドの誘客、MICEの誘致及び受入環境の整備**について記載する。

<都市ブランド力向上>

- ・ 観光戦略プラン・国際戦略の双方で、**多角的な魅力発信による都市ブランド力の向上**について記載する。

※両計画にまたがる項目については、施策の方向性の整合を図る。